

事務事業 No./名称	■サービス部門 環境-20今泉クリーンセンター管理運営事業				ザイムスコード及び個別事業名		
	□支援部門				1168	今泉CC管理運営事業	
主管課	今泉クリーンセンター		関連課 環境部内各課				
分野名	生活環境						
目標 (目標値)	施設を適正に管理する。 適正な処理100%						
人口等の データ	データ区分	21年度	20年度	備考			
	人口	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)			
	世帯数	78,131世帯	77,430世帯				
収集対象人口	73,174人	72,849人					
運営資源 状況	決算値	25,923千円	34,711千円		指標と評価		
	(国・県)				指標	水道利用量の削減	
	(負担金等)	77千円	70千円		評価	○	
	(一般財源)	25,846千円	34,641千円		◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		
	人員配置数	1.0人	1.0人		目標値	実績値	
	人件費	9,269千円	9,376千円		20年度	29,000m ³ 29,484m ³	
	協働の パートナー				21年度	19,000m ³ 19,598m ³	
事務事業 運営経費	総事業費	35,192千円	44,087千円		22年度	19,000m ³	
	市民1人当 りの経費	199円	250円		23年度	19,000m ³	
	対象者1人 当りの経費	481円	605円		最終年度 (25年度)	19,000m ³	
ベンチマー ク(県内外自 治体や民間 団体との比 較値)	団体名						
創意・工 夫・課題等 改善状況	課題・問題 点	(21年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) ・水道使用量削減のため地下水等利用設備を設置し、ガス冷却水として雨水等の有効利用を図っているが、地下水の汚れ、異物等の混入により、ガス冷却水ノズルが詰まってしまうことがあり、そのことが安定した地下水等利用の妨げとなっている。					
	創意・工 夫・課題等 の改善点 21年度の 成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) ・休炉時のガス冷却水ノズルの清掃を必要事項とするとともに、予備ノズルの確保を図った。また、配管の途中に点検・清掃用のジョイントを設け清掃確保を図り安定利用に努めた。					
	未解決の 課題・問題 点	(21年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) ・地下水量に高低があり、安定利用における一日消費量の把握と地下水量の安定に向けて、地下水利用設備の改善・検討が必要である。					
	今後の方 針(対応・ 改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) ・水道使用量削減のため、地下水利用設備等を改善し、安定した地下水等の利用を図る。					
一次評価(課長評価)				二次評価(部長評価)			
A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 E:事業完了							
評価結果	改善の必要性			評価結果	改善の必要性		
B	無	老朽施設を適正に管理するとともに管理運営コストの削減に向け、創意工夫をもって適切な管理に務める。		B	無	焼却施設の管理運営については、省エネルギー化と管理運営の低コスト化に一層配慮して適切な管理を行っていく。	
課長名		石井 貞雄		部名・部長名		環境部 相澤 千香子	